小中連携だより

No. 28

令和元年　6月　6日（木）
広田小中連携推進会
文責：広田小学校　副校長　長尾　俊哉
広田中学校　副校長　市田　恒明

5/23 小6「華道体験教室」を実施しました！

中学校職員の木山由紀子先生は、草月流の免許を持つ腕前の持ち主。その腕前を生かして本年度も６年生全員を対象にした華道体験教室が行われました。生け花の歴史などのお話の後、生け方のポイントを習った６年生は班別に分かれて取り組みました。初めての華道の体験のため、説明を聞く姿勢も真剣で、その後の取組にもお互いにいろいろな意見を交わしながら、生け花のアレンジに取り組むことができていました。終了後に「いい作品ができましたか。」と声をかけたところ、「はい、できました。」「心がきれいになった気がします。」と６年生の男子が答えてくれました。この６年生の生け花の作品は、６年生の各教室に飾られ、中学生の教室にも贈呈されました。これらの６年生の気持ちのこもった作品が少しでも長持ちするようにお世話をしなければという思いを強くした中学生でした。

児童代表と生け花の実演

～班別に活動中の風景～

みんなの目が真剣でした！

とてもきれいでかわいい作品！

６年生が中学生のクラスを訪れ、贈呈式が行われました。

みんなの心の中にも
きれいなお花が咲きました！

広田小学校６年生との華道体験学習が、今年で３年目になりました。いけばなを通し、日本人の美意識と精神性を学び、実際に花をいける楽しさと、伝統文化を受け継ぐ喜びを感じてもらえたらという願いで、いつも臨んでいます。

体験学習では、いけばなについての歴史や道具等を学習した後、各班で取り組みました。子ども達の作品は、どれも実にのびのびとしています。できあがった作品を誇らしげに、あるいはきらきらした笑顔で見せてくれました。教室や玄関に花を置き、優しく豊かな空間にしてくれています。花をいける幸せや、友達や先生方と一緒に創り上げる楽しさが、子ども達の心に少しでも残ればと願わずにはいられません。

最後になりましたが、華道体験学習の機会をくださった広田小学校の先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

広田中学校　木山由紀子

〔６年生の感想〕

華道体験ではお世話になりました。生け花をしてみて思ったことが二つあります。一つ目は、生け花をすることで自分の個性、友達の個性を見ることができるということです。二つ目は、お花を見るとリラックスし、心がきれいになるということです。生け花をすると、たくさんの花があることで、より心がきれいになっていくことが分かりました。今度は自分一人でみんなの心をきれいにできる作品を作りたいです。生け花の良さなどがたくさんわかりました。ありがとうございました。（1 組）

私が友達の作品を見て気づいたことは、みんなそれぞれ花の生け方がちがうことです。先生が言っていた「花を生けたりすると、その人の気持ちが出る」ということは本当でした。みんな個性が出ていて、とてもきれいに生けていました。私は華道が初めてなので、最初、何をするのかわかりませんでした。でも、先生がお花を切る時はバケツの上で切るとか、まずメインの花を決めてやるとか教えてくれたことで楽しくやれました。ありがとうございました。（2 組）

華道体験で華やかにするための工夫が少しむずかしかったですが、とても華やかになって良かったです。途中で先生が少し付け加えをしてくれて、お花を生ける工夫の仕方がわかりました。これからもっと生け花の歴史について調べてみたいです。友達の作品を見て、みんなお花を工夫して生けていて、いいと思いました。お花はあんまり家では飾らないので、きれいな空気にするために飾ってみようと思いました。お母さんが好きな花を集めて、この学習を生かしてプレゼントしてみたいと思いました。（3 組）

初めて花を生けてみて、班の人たちと協力して活動することができたし、協力する大切さを改めて感じることができました。花を生けると自然と笑顔が出て、とても楽しい気持ちになりました。家でもできる機会があったら、家の人や兄弟に教えて、みんなでやってみたいと思いました。最近、花とふれあうことが減ってきたので、久しぶりで嬉しかったです。日本は、とても良い文化をつくっていたなと思いました。（4 組）

みんな、きれいに花を生けていて、初めての体験だったのでバランスがそんなに分からなかったけど、友達の生け花を見ながらしました。メインの花を高く、あしをかくす、空間をうまく使うことが大切で、生け花はむずかしいなと思いました。好きな花とかそんなに調べたことがなかったので、花のことに生け花で興味が持てて良かったです。家に花を飾って、はなやかに見せようと思いました。花を置いたら得することばかりなので、挑戦しようと思いました。生け花を体験できて楽しかったです。（5 組）

生け花が室町時代のころから伝わり、長い歴史があることを初めて知りました。私の祖母は生け花をしていて、たまにお花を飾っていました。私が小さかったころは何かも分からず、剣山で遊んでいたそうです。でも、今まで知らなかった剣山に花をさす意味なども知れてよかったです。花を生けるのは、バランスや長さ、色味などがむずかしく、まだまだ何もできないところがありますが、お花を生ける機会があったら、生かしたいです。私のクラスの作品は、まるっとしたものが多かったですが、他のクラスは長いものもあったので、人それぞれちがうんだなとも感じました。とても楽しかったです。ありがとうございました。（6 組）

「小中連携だより」は小中学校のホームページにも掲載中です。カラーでご覧いただければと思います。